



前進座

創立八十五周年記念 五月国立劇場公演

扮者 河原崎國太郎

鶴屋南北作 「とうかいどうよつやかいだん」

東海道四谷怪談

二〇一六年五月十三日(金)―二十一日(日)

東京・三宅坂

国立劇場 大劇場

前進座 創立八十五周年記念 五月国立劇場公演

東海道四谷怪談

四幕十場

「どうかいどうよつやかいだん」

非情な男女の愛、
名もなき庶民たちの壮絶な生き様――
「四谷怪談」の面白さを
まるごと伝える前進座版

第一幕 第一場	浅草親世音境内の場
第二場	宅悦住居の場
第三場	裏田圃の場
第二幕 第一場	伊右衛門浪宅の場
第二場	伊藤喜兵衛内の場
第三場	伊右衛門浪宅の場
第三幕	砂村隠亡堀の場
第四幕 第一場	深川三角屋敷の場
第二場	同返し
第三場	夢から蛇山庵室の場

お岩 河原崎國太郎



鶴屋南北 作
小野文隆 脚本
中橋耕史 演出
金子次次 演出協力
船野悠二 美術
高木康夫 美術
寺田義雄 照明
持屋佐之忠 音楽
小野文隆 舞台監督

2016年5月13日(金)―22日(日)

東京・三宅坂 国立劇場 大劇場

5月	13(金)	14(土)	15(日)	16(月)	17(火)	18(水)	19(木)	20(金)	21(土)	22(日)
午前の部	11:30	11:00	11:00	貸切	11:00	11:00	11:30	貸切	11:00	11:30
午後の部		貸切	貸切		16:30	16:30			16:30	

(2015.11.30現在)

観劇料金(税込)

一等席10,100円 二等席4,200円 三等席2,600円/特等席12,000円(30席)

前進座チケット専用 0422(49)0300(平日9:30~18:00)

前進座ウェブサイト <http://www.zenshinza.com/>

前進座 〒180-8570 東京都武蔵野市吉祥寺南町3-13-2 0422(49)2811

3月15日(火) 9:30~
一般発売開始



国立劇場
東京都千代田区千代田4-1 03(3265)7411

- 地下鉄 半蔵門線(半蔵門駅)1番出口 徒歩5分
有楽町線・半蔵門線・南北線(永田町駅)
4番出口 徒歩8分・2番出口徒歩10分
- 都バス 都03(新大塚駅西口―四谷駅)
都75(新大塚西口―三宅坂)〔三宅坂〕徒歩1分
- タクシー 東京駅丸の内北口乗り場より10分・四谷駅より5分
- 駐車場完備(有料)

鶴屋南北の最高傑作として、歌舞伎屈指の人気作として、今日でも私たちを楽しませてくれる名作。怪談と言えば「四谷怪談」、幽霊と言えば「お岩」と言われるほどですが、怪談劇だけではない、いくつもの濃厚な人間ドラマとスペクタクルを堪能させる作品です。前進座の上演は一九八二年以来、実に三十四年ぶり。先代河原崎国太郎がお岩を演じ、連日列をなすほどの評判を取りました。「髪梳き」「戸板返し」などの名場面はもちろん、上演頻度の少ない、お岩伊右衛門の儂く美しい「夢の場」を含め、非情な男女のもつれを、驚きの仕掛けとともにお見せします。お岩役は当代河原崎國太郎。「お染の七役」「解脫衣楓果」など、多くの南北劇のヒロインを演じてきた國太郎が満を持して臨みます。創立八十五周年のメモリアル公演、前進座歌舞伎の大作にご期待下さい。

【前進座】昭和六年(一九三三)に若き歌舞伎俳優たちによって創立され、二〇一六年に八十五年を迎える劇団。戦前戦後の時代から現在に至るまで、都市大劇場、各地小中学校体育館を問わず演劇普及に邁進。歌舞伎をレパートリーに持つ貴重な劇団としても評価されています。